

Measure with Passion
温度を極める

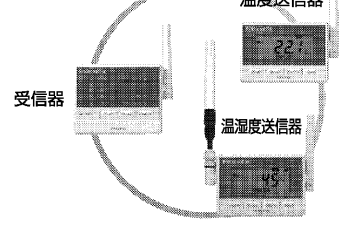
インターフェックス week 東京 2025 に
当社は出展しております
小間 No.W8-60 (西ホール1F)

医薬品製造・保管場所の温湿度監視

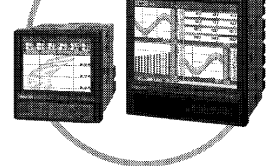
集録・監視パッケージシステム **CISAS 5**

施設内に分散した装置・設備のデータを集約し、監視・分析・エビデンス管理ができるパッケージソフトです。
無線ロガー・グラフィックレコーダをコンポーネントとし、データ集録・監視をします。

監視機能付き無線ロガー



グラフィックレコーダ



Part11対応版を用意

インターフェックス
チノブース小間内セミナーのご案内
①最新の温度マッピング実施ノウハウとその課題
②最新のIoTモニタリングシステムとその実用性

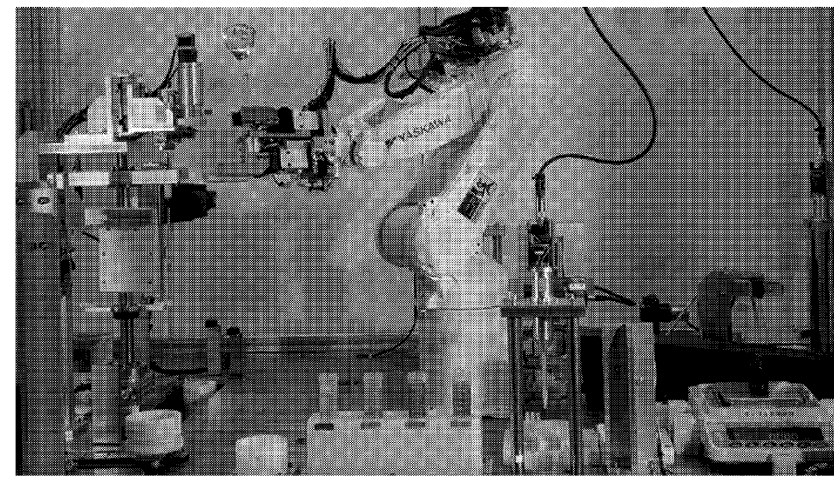
安全・安心を支える計測・制御・監視(システム/機器/センサ)
CHINO
株式会社チノ

CISAS 5について
詳しくはホームページを
ご覧ください



本社 〒173-8632 東京都板橋区熊野町32-8 TEL.03(3956)2111 FAX.03(3956)8927 <https://www.chino.co.jp/>

出展装置 ラボ用ロボットシステム



ファーマラボ EXPO 東京

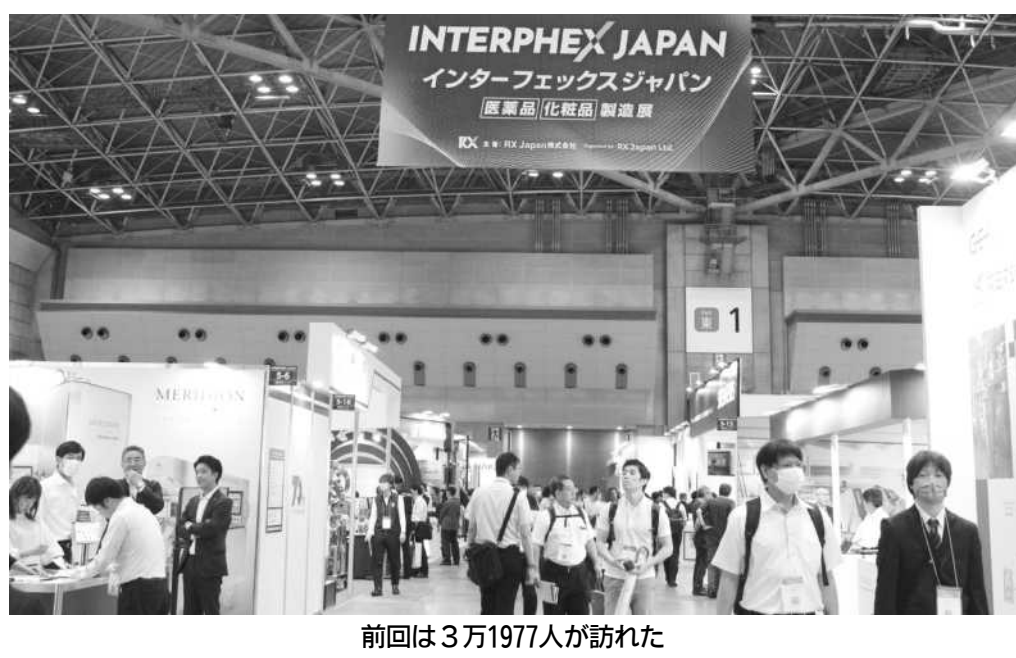
医薬品 研究・開発展
会期:2025年7月9日(水)~11日(金) 会場:東京ビッグサイト
アラインテックは、製薬・医療・食品・化学等の分野におけるHPLC分析の前処理作業の自動化を実現しました。粉末の微量秤量、ホールピペット、メスフラスコでの希釈、フィルトレーション、遠心分離、QRコードの印字/読み取り作業の自動化で、安定した品質のサンプル作成が可能になります。また、画像やデータの確認ができるため、データのバラツキ要因解析が容易になり研究のスピードアップにも貢献します。更に、データインテグティへの対応、バリデーション対応にも貢献できます。

“イノベーション実現パートナー”
aline アラインテック株式会社
<https://alinetech.co.jp/>

本社 〒740-0045 山口県岩国市長野1815-7
TEL(0827)38-3555 FAX(0827)38-3311
岐阜工場 〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐58-2
TEL(0584)22-6590 FAX(0584)22-6592

インターフェックス Week 東京

「医薬品・化粧品」研究・製造—最前線



今回は3万1977人が訪れた

製薬の現場は厳しい制約条件があり、作業には熟練した技術が求められる。開発・製造で使用する機器は種類が多く厳格な衛生管理が必要のため、自動化が難しいとされてきた。しかし近年は制御やセンシング、ハンドリングなどの技術進歩によって製薬の自動化が進みつつあり、会場では最新の製品、技術が紹介される。また、無菌環境下で行われる再生医療の分野でも自動化ロボットの導入が進んでおり、自動培養装置や自動分析装置など多様な製品が展示される。



会期中は多彩な講演・セミナーが行われる(2024年)

320セミナー
今年も過去最多となる320の講演・セミナーが開催される。基調講演は9日10時から開催され、会場B東ホールでは厚生労働省医政局医薬政策室長・医療情報企画課長 藤井大貴氏が「再生医療・遺伝子治療の発展に向けたタカラバイオの最新の取り組み」をテーマに講演する。会期中は特別講演も多く行われる。9日12時半からは中外製薬の須山英信氏が「創薬研究を支える基盤技術の一つであるラボオートメーションの現状と課題を紹介し、同15時からは東京理科大学教授の櫻井信彦氏が「医薬品の品質保証に必要な企業文化醸成とGMP人材育成について」をテーマに講演する。そのほかにもさまざまな講演・セミナーが開催され、多彩な専門家が登壇する。基調・特別講演の聴講は事前申し込みが必要。詳細は同展ホームページへ。

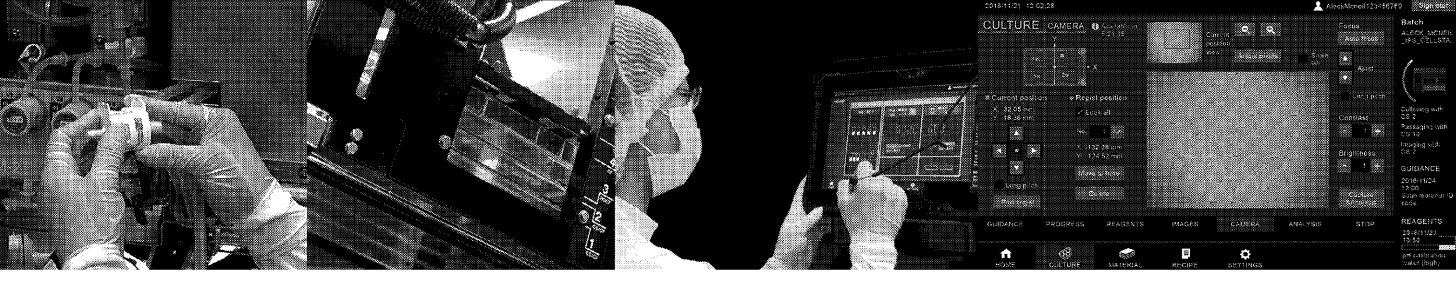
原材料・開発・品質管理: 90社
インターフェックス Week 東京は、医薬品・化粧品の原材料から開発、製造、包装、品質管理、物流まで幅広い工程の製品が展示される。「ファーマDX EXPO 東京」の初開催は「再生医療・細胞研究」に注目が集まる。会場では「再生医療・細胞研究」に関する展示として今年度「再生医療 EXPO 東京」を構成する「再生医療 EXPO 東京」と合わせて約900社。全体で

「ファーマDX EXPO」初開催
今年、ファーマDX EXPO 東京が初開催される。同展は医薬品・化粧品を掛け合わせて垣根を越えたネットワークを創出し、医薬品業界のデジタル変革(DX)を支援する。研究・開発、製造・品質管理、営業・マーケティングなどの分野にまたがり、注目度の高い展示会となっている。

東京ビッグサイト あす開幕

「インターフェックスWeek東京」が9日から11日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。医薬・化粧品向けの製造装置、検査装置、包装機器、原料、物流・流通、IoTソリューションなどが紹介される。主催はRX Japan。開場は10時から17時まで。入場には事前登録が必要で、同展ホームページ(www.interphex.jp/tokyo/ja-jp.html)より登録できる。

医薬品製造工場向け 国産シリコンホース
シングルユースシステム組込み可能
QUICK RESPONSE
バリデーション図書
トヨファーマSIブレード / チューブ
●プラチナ硬化シリコン ●使用温度範囲: -30℃~150℃
TOYOX TEL 0120-52-3132
www.toyox.co.jp お客様相談室 受付 9:00~17:00 (土日・祝日除く)



自動細胞培養装置
CellQualia™
INTELLIGENT CELL PROCESSING SYSTEM
高品質・低コストで安定的に供給
シンフォニアの自動細胞培養装置
IPS MSC

- QbD アプローチ
- 無菌的培養環境
- 多層培養容器
- リアルタイムモニタリング PAT
- 安定製造
- 自動化省力化
- 低コスト
- CSVシステム



シンフォニアテクノロジー株式会社
お問い合わせはこちら
CellQualia ブランドサイト

Ikegami 池上通信機の粉体検査装置

検査装置で"できること"
●供給・搬送・異物検出&除去・良品回収がこの1台で完結。全数検査の自動化が可能です。
●スポット吸引を採用。良品を無駄にすることなく、高い歩留まりを実現できます。
POIE-8000CA

第27回 錠剤/末・顆粒剤など、各種医薬品検査装置をご提案。
インターフェックスジャパンに実機出品!
【セミナーに登壇します】
化粧品研究・生産フォーラムセミナー
-化粧品原材料の品質向上-
全数検査できる粉体検査装置について
●開催日時: 7/9(水) 15:50~16:20
●会場: 出展社セミナー会場⑤(西ホール1F)

池上通信機株式会社 〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16 URL:www.ikegami.co.jp/
お問い合わせはこちら▶▶▶インスペクションソリューション営業部 TEL: 03-5748-2255 / MAIL: is-2@ikegami.co.jp

インターフェックス Week 特別講演

9日(水)

12:30 ~ 13:30	会場 A 東ホール	進化するラボオートメーション ～創薬研究の加速を目指して～	中外製薬	バイオロジー基盤研究部 創薬クロステックグループ グループマネジャー 須山 英悟氏
15:00 ~ 16:00	会場 B 東ホール	抗がん剤開発のトレンドと日本の課題	国立がん研究センター 中央病院	副院長 山本 昇氏
15:00 ~ 16:00	会場 E 西ホール	医薬品の品質保証に必要なこと ～企業の品質文化醸成とGMP人材育成について～	東京理科大学	薬学部 医薬品等品質・GMP 講座 教授 櫻井 信豪氏

10日(木)

10:00 ~ 11:00	会場 E 西ホール	医薬品の製造管理・品質管理やガバナンスの徹底に向けた行政の取組	厚生労働省	医薬局監視指導・麻薬対策課 監視指導室長・麻薬対策企画官 山本 剛氏
10:00 ~ 11:00	会場 G 南ホール	現場から始まる AI 革命 ～生成 AI が変える研究とモノづくり～	ライオン	執行役員 全社デジタル戦略担当 中林 紀彦氏
12:30 ~ 13:30	会場 B 東ホール	制御性 T 細胞 (Treg) を標的とするがん免疫療法の展望	大阪大学免疫学 フロンティア研究センター	特任教授 坂口 志文氏

11日(金)

10:00 ~ 11:00	会場 F 西アトリウム	プロセス開発におけるデジタル技術の役割と可能性	東京大学	大学院工学系研究科化学 システム工学専攻 教授 杉山 弘和氏
12:30 ~ 13:30	会場 B 東ホール	協和キリンの ADC 開発戦略 ～オープンイノベーションを活用したボトムアップ型創薬～	協和キリン	生産本部 CMC 開発部 プロジェクト & プロダクトマネジメント 3 グループ マネージャー 佐藤 秀尚氏
12:30 ~ 13:30	会場 E 西ホール	第一三共が進めるスマートファクトリー化への取り組み	第一三共	テクノロジー本部 生産統括部 生産管理第二部 生産 DX グループ グループ長 小林 礼氏

※一部抜粋 (プログラムは 7 月 1 日時点)

有力企業の製品・技術 順不同

INTERPHEX Week TOKYO

チノール

チノールは1936年の設立以来、計測・制御・監視の分野で社会に貢献してきた計測機器メーカー。赤外線計測や燃料電池評価試験で高い技術力を誇る。

温度技術やIoT技術を駆使し、医薬品に関する温度マッピングや輸配送、医薬品製造、再生医療など最新技術を紹介する。またデータの正確性を保証するデータインテグリティ、米国の電子記録に関する規則「Part 11」などを含めた

温度モニタリングシステムを会場で展示する。ブース内では「温度マッピング実施ノウハウと課題」「最新のIoTモニタリングシステムとその実用性」と題したセミナーを行い、同社の技術を解説する。

シンフォニアテクノロジー

シンフォニアテクノロジーは細胞製造を安定化させる全自動の細胞培養装置を開発し、「CellQualia (セルクオリア)」ブランドで販売している。

再生医療では性質が変化しやすい生きた細胞を治療に用いる。そのため、細胞製造は熟練した技術者によって手作業で行われ、微生物汚染や作業ミスなどによる不良品の発生を完全には防止できず、品質の安定化も困難だった。

同装置は微生物汚染防止のため完全閉鎖系とし、製造中のデータで品質を管理する工程監視機能も搭載した。電子化した製造データの蓄積で、新たな細胞製品の開発も可能となっている。

池上通信機

検査装置メーカーとして50年以上の設計・製造・技術の経験を持つ池上通信機は、会場で錠剤検査装置、末・顆粒剤(粉体)検査装置を実機展示する。また

両製品の特徴や強みをプレゼンテーションでアピールする。その他、AI映像解析・検知カメラシステムの実機展示や、インクジェット錠剤印刷装置のパネル展示も行う。化粧品原材料の検査に役立つ出展者セ

ミナーでは、粉体検査装置を紹介する。同装置は医薬の粉や化粧品などの化学系原材料の粉向けで、全数検査・異物検査・異物除去・良品回収が1台で完結する、オールインワンタイプとなっている。

アラインテック

アラインテックは製薬業界などで行われている高速液体クロマトグラフィー(HPLC)用の試料の前処理を自動化する。液体・粉体秤量(ひょうりょう)、

希釈、振とう混和、遠心分離、ろ過などの工程からなる多種類の試料処理方法に対応。分析用試料調整の自動化により、作業のバラつきが少なくなる。また試料調整中のデータの記録を確認できるため、データのバラつきの原因分

析が簡単になり、研究の加速化にも貢献できる。さらに、片栗粉程度の粉体の微量秤量も可能になったため、より幅広い粉体秤量を含む工程の自動化も実現。データインテグリティ、バリデーション対応もできる。

トヨックス

トヨックスは医薬品製造工場向けシングルユース用「トヨファーマSIブレードホース/チューブ」を初披露する。材質にプラチナ硬化シリコーンゴムを採

用。加工から最終梱包までクリーンルームで実施し、品質管理を徹底している。ガンマ線照射滅菌・オートクレーブ滅菌にも対応できるのが特徴だ。動物由来成分不使用や、各種法令への適合など必要な各種証明書(バリデシ

ョン図書)もスピーディーに提供が可能。国内製造のため、短納期かつ安定的に製品を届けることができる。特殊な耐圧補強構造の採用により、ねじれにくく、従来ホースに比べ配管もしやすい。会場では従来ホースとの比較も実演する。